

ループ付きタオル(2017. 6. 28)



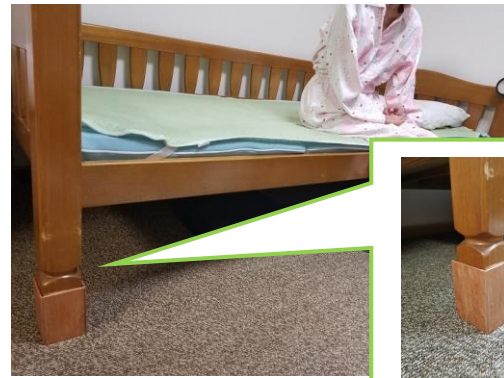
<特徴>

片腕の肘から先を切断された方が、タオルを使って背中を洗えるようになりたい、というニーズに対応しました。必要な長さにするために市販のボディタオルを2本使って製作しました。

<ワンポイントアドバイス>

利用者の体格に合わせて長さを変化させます。

ベッドの補高台(2017. 7. 2)



<特徴>

ベッドの高さを8cm高くして欲しい、というニーズに対応しました。ベッドの4本の脚の下にそれぞれ8cmの補高台を置きました。ベッドの脚からはずれないように、補高台にはベッドの脚を覆う板が付けてあります。

<ワンポイントアドバイス>

利用者のニーズに合わせて高さを変化させます。

携帯電話スイッチ(2017. 9. 19)



<特徴>

携帯電話のスイッチを顎で押したいというニーズに対応しました。電源 on、電源 off、短縮ダイヤル3個の計5個のスイッチを顎で押せるようになりました。

<ワンポイントアドバイス>

携帯電話の機種や押したいスイッチにより自助具の形状が変わります。

足踏み式爪切り(2017. 10. 3)



<特徴>

脳卒中などにより筋肉の緊張が強く、指を握りこんでしまうため、麻痺している手の爪を切れない方が、自分で爪を切るための自助具です。握りこんでいる指を、麻痺していない手で伸ばしながら、足でペダルを踏んで爪を切ります。

<ワンポイントアドバイス>

机の高さに合わせて、ワイヤーの長さを変えます。

車いす駆動用手袋 (2017.10.16)



手の平側



手の甲側 (開けた写真)

<特徴>

頸髄損傷による四肢麻痺のため、車いすのハンドリムを握りこみながら、駆動することが困難な利用者のニーズに対応しました。市販の手袋を利用者の手に合わせて形を変えました。また利用者が一人で脱着できるように工夫しました。そしてハンドリムとの摩擦を高めるために手の平の部分にゴムを貼りました。

<ワンポイントアドバイス>

利用者の手に合わせて、大きさや形を変えます。

哺乳瓶ホルダー (2017.11.7)



<特徴>

関節リウマチのお母さんが赤ちゃんにミルクを飲ませる時、関節に負担をかけずに哺乳瓶を持てるようにホルダーを製作しました。アクリル板で作ったホルダーから哺乳瓶が抜け落ちないために固定するベルトには、マジックテープをはずしやすくするためにループを付けました

<ワンポイントアドバイス>

使う方の手や、哺乳瓶に合わせて、ホルダーの大きさや形を変えます。

シャワーヘッド・ホルダー (2017.12.4)



<特徴>

施設の広い浴室で自立入浴される方の、手が届くところにシャワーヘッドが固定できたらいいな、というニーズに対応して製作しました。ホルダーのベースには市販の洗い椅子を用いました。椅子が安定するように内部に重りをつけてあります。また、シャワーヘッドが回ってしまわないように、ホルダーの先端に回転止めがつけてあります

<ワンポイントアドバイス>

使う方のリーチや、シャワーヘッドの形状に合わせて、ホルダーの高さや形を変えます。

片手用ソックスエイド (2017.12.25)



<特徴>

脳卒中などの方が、片手でソックスをはくための自助具です。あらかじめ介助者がソックスに自助具をセットしておく、必要な時に一人でソックスをはくことができます。介助者は樹脂の板で作った自助具を丸めて、ソックスに装着しておきます。

<ワンポイントアドバイス>

使う方の足やソックスに合わせて、自助具の大きさを変えます。